



朝九小だより

朝霞市立朝霞第九小学校

令和 8年 1月 30日(金)

2月号 児童数412名

TEL:048-466-4481

<http://www.asakadai9shou.city-asaka.ed.jp>

【学校教育目標】 「心豊かでたくましい人間の育成」

すすんで学ぶ子 思いやりのある子 たくましい子

【めざす学校像】「元氣な挨拶と明るい笑顔で輝きのある学校」



「本当の友達とは～泣いた赤鬼(浜田廣介 作)より～」

校長 小林美加

3学期に入り約1ヶ月経ちましたが、おかげさまで子供達は落ち着いて学校生活を送り意欲的に学習に取り組んでいます。晴れの日が多いためか、日中は寒さを感じる日も少なく、校庭で元気よく遊ぶ子供達の姿が見られ嬉しく思います。まだインフルエンザや胃腸炎等の感染症も流行っていますので、生活のリズムを整えて、体調を崩さないように気を付けて過ごしてほしいと願っています。体調が悪いときには、無理をさせず、家でゆっくり休養するなど、ご家庭でも健康管理等、ご協力をよろしくお願いいたします。

さて、暦の上では2月3日は「節分」、4日に「立春」を迎え、春が始まります。厳しい冬を乗り越えてこそ、春に美しい花が咲き薫るといわれるように、校庭の木々も新しい芽がでたり、つぼみがふくらんだりして、春の訪れを感じさせてくれています。

節分といえば「鬼は外、福は内」と豆をまいて、悪いものを追い出す日ですが、自分の中の「意地悪鬼」「怒りんぼ鬼」「わがまま鬼」「泣き虫鬼」など、心の中にいるいやな鬼たちと向き合う日でもあるといわれています。ご家庭でも自分の心の中にいるいやな鬼について、どうしたら追い払うことができるのかを、親子で一緒に話し合う機会としていただければと思います。

全校朝会では、道徳の教科書にも掲載されている「泣いた赤鬼(浜田廣介 作)」という話を紹介します。このお話に出てくる赤鬼は、人間と仲良くなりたいと願う、心優しい鬼です。でも、なかなか人間には受け入れてもらえません。悲しく悔しい思いをしている赤鬼のために、親友の青鬼は自ら“悪い鬼”を演じ、赤鬼が人間と仲良くなれるようにと身を引きます。赤鬼はその思いやりに気づき、涙を流すというお話です。

この話を通して、「本当のやさしさとは何か」「本当の友達とはどんな存在か」を子供達と一緒に考えたいと思います。また、外見だけで人を判断しないで、内面をしっかりと見ることが大切であることから、自分自身の内面も大切にすることや、友情とは自分だけではなく、友達の幸せも願うことができる深い絆であることについてもふれていきたいと思えます。子供達が、心のふれあいや葛藤を学ぶことで、自己中心的な思考から他者を思いやる心へと成長することを期待しています。

保護者や地域の皆様もお身体に気を付けて、2月も引き続き子供達の見守りや声掛け、ご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。